

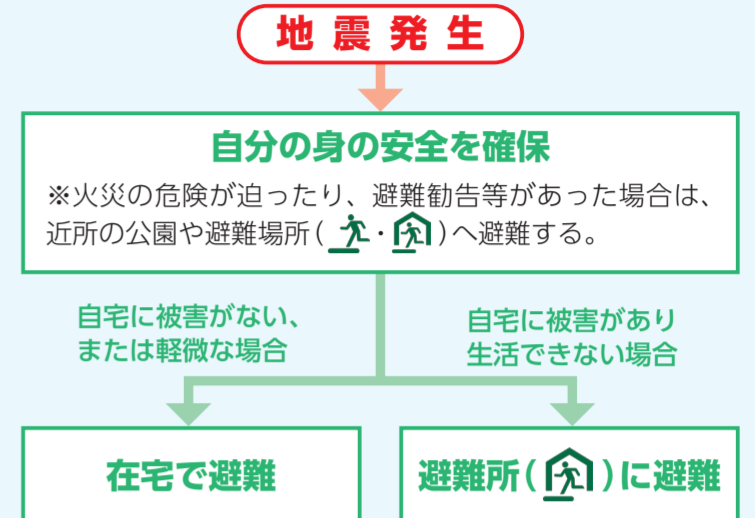
建物被害予測マップ

建物被害予測マップとは、千葉市直下地震（マグニチュード7.3）が発生した場合に、揺れ・液状化・急傾斜地の崩壊・火災によって、建物が全壊・焼失する可能性を50mメッシュ単位で表示したものです。

〈マップの見方・活用法〉

建物被害予測は、建物の構造や建築年代等のデータを基に、50mメッシュ単位で行っています。個々の地点に対するものではないため、地域全体の傾向を把握するためにご活用ください。  
日頃から、地域の危険度や避難所・避難場所の位置を確認するとともに、地震への備えや地震が起こった場合の対応について、地域の方々やご家庭で話し合ってみましょう。

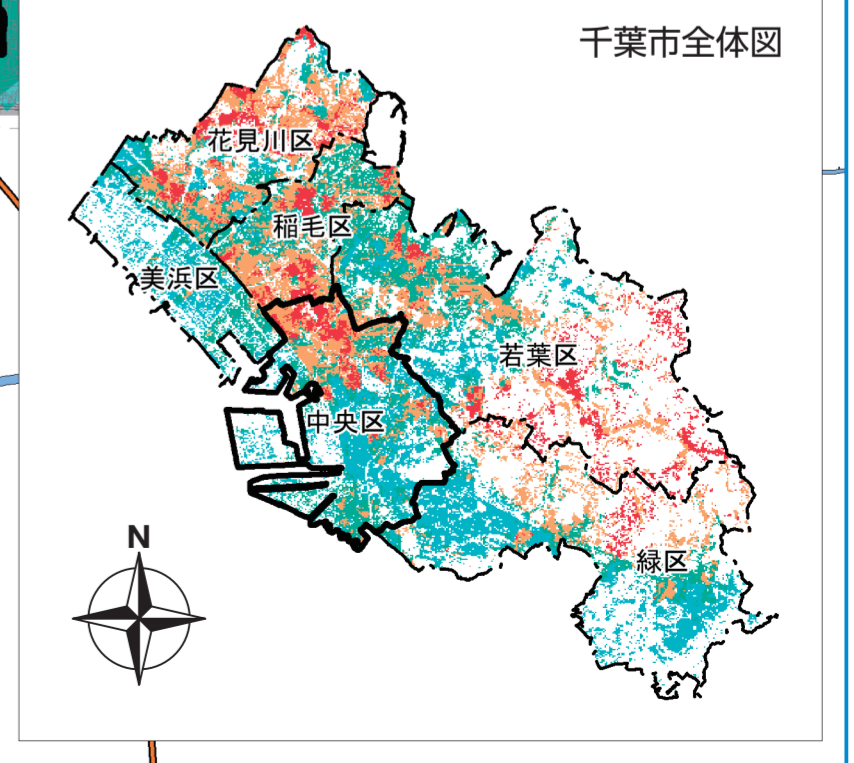
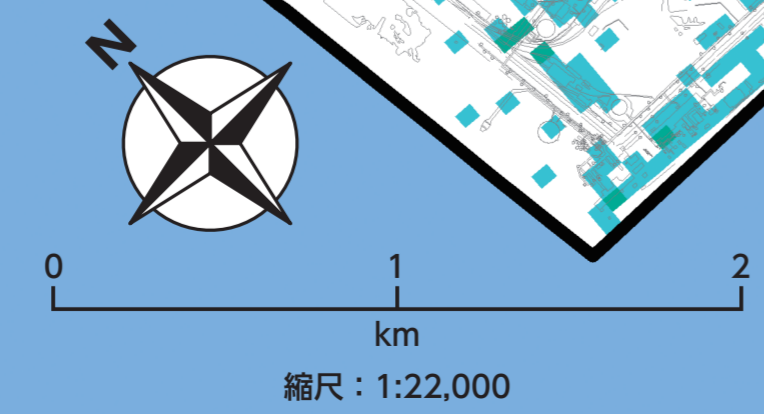
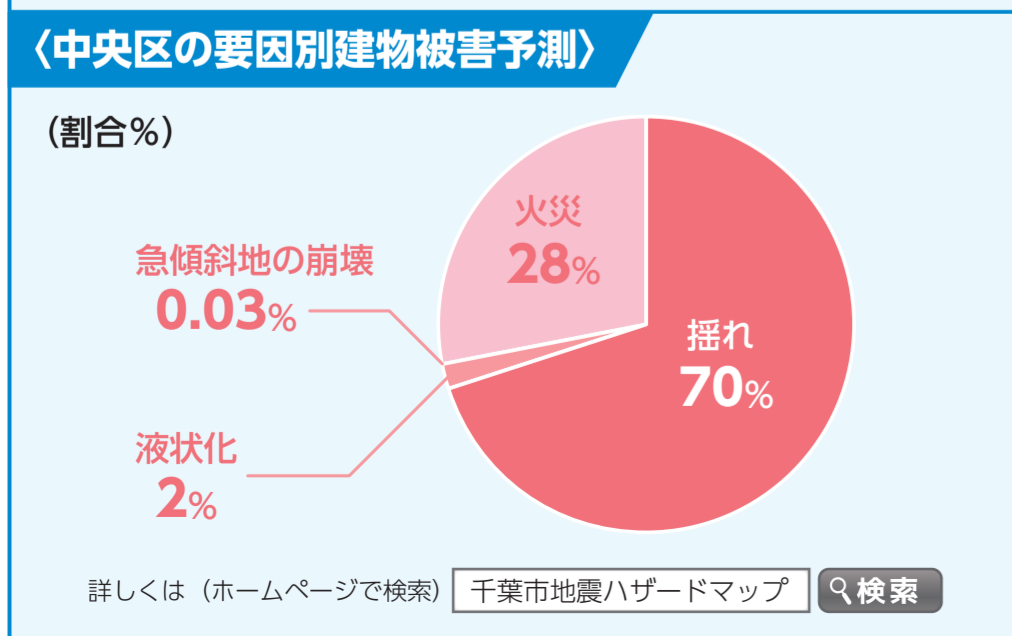
地震発生時の避難方法



**凡例**

- 建物被害率20%以上
- 建物被害率10%以上20%未満
- 建物被害率5%以上10%未満
- 建物被害率5%未満
- 建物がないところ
- 避難場所
- 避難所兼避難場所
- 広域避難場所

※建物被害率は、全建物棟数のうち全壊又は焼失する棟数の割合を示したものです。  
※避難場所・避難所は、平成29年3月時点のものです。



このマップの背景図として使用した地図（千葉市基本図）は、平成21年3月に作成されたもので、一部現状とは異なる場合がありますのでご注意ください。